

第 2 部 公開講座（講演）

13:00～14:30

「世界史のなかの縄文文化」

早稲田大学名誉教授 菊池徹夫 先生

第 3 部 対談

14:50～15:50

「縄文文化に学ぶ」

菊池徹夫先生 × 俳優 竹下景子さん



資料

『アサヒグラフ』通巻 4061 号

（朝日新聞社 1999 年 12 月 24 日号）より



青森県三戸町沖中遺跡出土「赤ちゃん」土偶
おきな

高さ 7 cm

世界史のなかの縄文文化

縄文文化の「人類史的な価値」とは？

2015年2月14日(土) @岩手県民会館中ホール

岩手の皆さんへのご挨拶

「まほろん」とわたし

「ふくしまの復興 記憶をつなぐ」のご報告

世界史における人類史

- 1 旧石器時代・中石器時代・新石器時代そして金属器時代
- 2 新石器時代とは？

縄文時代・縄文文化とは？

- 1 いつから、いつまで？
- 2 どこから、どこまで？
- 3 遺構 住居、生業・生活遺構、墓葬・祭祀の遺構
- 4 遺物 土器、労働・生活用具、心の道具
- 5 縄文人

農耕・牧畜なく1万年もの長期間、定住生活

- 1 縄文文化は、旧石器時代と金属器時代(弥生時代)との間に位置し、この点では、西欧の新石器文化と編年的位置は同じだが、農耕・牧畜を行わず、採集・漁労・狩猟が生業の基盤。ただし、クリ・漆など半栽培・山林原野の資源管理(里山!)は行っていた。おそらく酒も考えられよう。
- 2 竪穴住居集落を形成、定住生活(数的観念・土木技術・協同作業・社会秩序・・・)
- 3 つねに豊かな土器文化を伴った。
- 4 この生活様式は1年以上もの長期間にわたり継続(大平山元の土器は16,500年前)

自然環境に適応したエコロジカルな生活

- 1 世界一豊かな生物多様性に恵まれた日本列島海域が舞台。
- 2 周囲の自然環境・生態系にうまく適応し、調和的な生き方。
- 3 集落に囲壁・柵列・土塁・堀溝を持たず、周辺・環境に対し開放的。
- 4 近・中・長距離間交通・交易システム(黒曜石・アスファルト・ヒスイ・貝、情報・・・)

「縄文スピリット」とでも呼びうる豊かな精神性

石器時代としては他に例をみないほどの豊かな精神文化を持っていたと思われる。

- 1 土偶、石棒、鐸型土製品、石刀・石剣、足型土版など、心の道具
- 2 土器型式、装飾・文様表現
- 3 墓葬・環状列石
- 4 貝塚・土器塚、盛土遺構
- 5 手型足跡土版、大湯タブレット

母系的祖霊崇拜などの儀礼や祭祀を暗示するものも？

まとめ

- 1 ヨーロッパ・西アジアの新石器時代文化とは異なって農耕・牧畜を持たず、基本的には採集・漁労・狩猟によって竪穴住居集落で定住生活を営み、長く緩やかな文化変化を伴いながら、また幾度かの自然災害を乗り越えつつ、基本的には周囲の自然環境に適応した生活様式を、じつに1万年以上の長期にわたって維持し続けた。
- 2 縄文社会では、四季折々、カレンダーに従い、季節ごとに多種多様で豊富な生活資源を適切に維持管理しつつ獲得し、したがって当然、農耕社会のように大規模に森林・山野を開伐し河川流路を改変するといったことはなかった。
- 3 このように、再生可能、持続可能な生活システムが確立されていたからこそ、ほぼ同質の文化が極めて長期にわたって、安定して存続しえたのだろう。それは、人類史上他に例を見ないほど優れて豊かな土器文化からもうかがえる。
- 4 こうした、自然と共生する生活態度はアニミズムの存在を思わせ、自然畏敬の観念、さらにアイヌのイオマンテ、イワクテ、オプニレなどにみられるような、いわゆる送りの思想とも関係するのではないか。
- 5 他方、これは、古来の日本の信仰や生活スタイル、たとえば食文化の伝統などにもつながるものと思われる。
- 6 ゆえに、いわゆる極端な「縄文パラダイス論」は別として、われわれはエコロジカルな生き方のモデルを縄文に学ぶことはできるだろう。
- 7 金属製の利器・武器と水稻を携えて列島に最初の本格的農耕文化を扶植した弥生人が、後の統制的・軍事的国家に連なる父性的な文化を植え付けたのに対し、縄文人はそれに先立って列島に在り、そこに生きることとなるすべての人間集団に連なる母性的な文化を育てていた。その意味で母なる文化といえようか。当然、現代日本の全ては、この2者に基盤的ルーツを持つ。

(附) 世界遺産登録のための「顕著な普遍的価値 Outstanding Universal Value」

- 1 人類史の再構成に役立つ。
- 2 ユネスコの世界遺産リストじたいを、より豊かに、より完全なものにできる。
- 3 ただし、OUVの証明のために次の3つが不可欠
 - a 真実性 authenticity
 - b 完全性 integrity
 - c 十分な保護・管理・活用



白土製、成形を押し出した土器、裏面は
形入りの凹、意匠、表面に赤土を
塗ったもの

赤ちゃんの
手足を粘土に
押しつけたもの

上は、抱っこ土偶、
下は、おんぶ土偶、いずれも中期。

上は、東京都八王子市宮田遺跡出土
(国立歴史民俗博物館蔵)

下は、石川県かほく市上山田(かみやまだ)貝塚
出土

藤沼邦彦1997『歴史発掘3 縄文の土偶』講談社より

縄文時代のどーも君？

秋田県鹿角市大湯環状列石出土

縄文人の記数法と“算術”の発見



上は報告書、右は、
藤田富士夫2007年『縄文人の
記数法と“算術”の発見』
『列島の考古学』
(渡辺誠先生古希記念
論文集刊行会)より

第1図 秋田県大湯環状列石の土版